

2011年4月26日

津波などにより被水・冠水した恐れのある車両の点検・修理について

津波などにより被水・冠水した車両では、毛細管現象によって配線など思わぬ部分に海水が浸透している恐れがあります。

外観からは異常がないように見えても、海水の塩分による腐食や泥・ゴミの侵入によって、各装置の作動不良や特に電装品の発熱・ショートによる車両火災など重大なトラブルを引き起こすことも予想されます。

現在、走行可能な車両であっても、ぜひ一度、最寄りのいすゞ自動車販売会社で点検を実施いただくようお願いいたします。

1. 車両の点検・修理について

車両の被害状況によっては、完全な修復が困難な場合や修理に要する時間が長期におよぶ場合があります。

特に運転席内部まで海水が浸入していた場合には、ほとんどのハーネスや電装品の交換が必要となるため、大規模な修理となることが予想されます。

2. 被水・冠水後放置されていた車両の点検・修理について

冠水後、排水・洗浄などの防錆保全を行わずに長期間放置されていた車両は、エンジンやミッション内部、ハーネス、コネクタ、電子部品など、それぞれ細部にわたってまで、腐食が進行している可能性があります。

修理にあたっては、多くの箇所の分解点検、部品交換が必要な上、完全な修理が困難な場合も予想されます。

3. 現在、ご使用になられている車両の点検について

見た目には被害が軽微でも、海水が毛細管現象によってハーネス、コネクタなどをはじめ各部へ浸入している可能性があります。

塩分による腐食などが進むと、ブレーキやステアリングの作動不良や電気配線等からの発熱、発火など大きなトラブルにつながることもあります。

今一度、冠水の程度を確認させていただくとともに、点検を実施いただくようお願いいたします。

点検・修理には、万全を期して行わせていただきますが、浸入した海水の塩分を完全に除去することが難しい場合もあり、時間の経過とともに各装置やハーネス、コネクタなどに錆が生じて、正常な機能が損なわれる可能性があります。

点検・修理後、車両に異常が感じられた場合は、至急最寄りのいすゞ自動車販売会社までご連絡ください。

【いすゞ自動車販売会社】

- ▶ [東北関東大震災被害に伴うサービス工場稼働状況について](#)

※上記以外の販売会社営業所は営業しております。

- ▶ [販売・サービス網](#)